

在宅医療介護市民公開講座

自宅で過ごす、 最期のむかえ方



手話通訳・要約筆記あり



「在宅医療」とは、おもに通院がむずかしくなった場合に、医師や看護師などに、自宅や施設に来てもらって、治療を受けることを言います。在宅医療では、このほかにもケアマネジャーなど、多くの専門職がチームとなって、ご本人やご家族を支えます。

今回の講座では、「最期まで住み慣れた場所で過ごしたいけどどうしたらいい?」「在宅医療ってどんなこと?どうやって始めればいいのか?」などの疑問に対して、症例を交えながらお話をします。自分らしく、望む場所で療養する方法を一緒に考えてみませんか。

講師：医療法人日高整形外科病院 副院長 **猪狩洋介** 先生



講師プロフィール

久留米に生まれ長崎で育ち福岡大学を卒業。平成20年に腫瘍・血液・感染症内科へ入局し、すべてのガンにおける化学療法(抗がん剤治療)を習得しがん薬物療法専門医を取得。同時に福大病院内の終末期医療も担当する。

平成29年より日高整形外科病院で内科に従事。これまでの経験を活かし訪問診療を立ち上げ、血液内科を中心に外来・入院・訪問診療と昼夜問わず幅広く活動中。病院の新しい理念を、“ともに向き合い『生きる』を支える”と掲げ、患者や家族を支えられる病院へと改革を行っている。

日時

令和6年 **11月9日(土)** 14:00~16:00
(受付13:30~)

場所

久留米医師会館 ホール (久留米市櫛原町45)

定員

200名 オンデマンド配信 (YouTubeによる限定配信) 令和6年11月18日(月)~12月8日(日)

参加費
無料

申込方法

▶会場参加

電話または裏面のFAX、右の二次元コードからお申し込みください。



▶オンデマンド視聴

右の二次元コードからお申し込みください。



締め切り **令和6年11月6日(水)正午まで**

※決定通知はお出ししません。当日会場にお越しください。

※二次元コードから申し込みされた場合、申込み完了の自動送信メールが届きます。

託児所あり (定員4名)



ご希望の方は、**申し込み時に「託児希望」と**お伝えください。(定員になり次第締め切り)

【主催】久留米市 【受託事業者】一般社団法人久留米医師会 【事業担当課】久留米市健康福祉部保健所健康推進課
【後援】(一社)浮羽医師会・(一社)小郡三井医師会・(一社)大川三瀬医師会・(一社)久留米歯科医師会
(一社)浮羽歯科医師会・(一社)大川三瀬歯科医師会・(一社)久留米三井薬剤師会・浮羽薬剤師会・大川三瀬薬剤師会
(公社)福岡県看護協会・(特非)久留米市介護福祉サービス事業者協議会

【問合せ/申込先】

在宅医療・介護連携センター久留米

TEL: 0942-34-4163 / FAX: 0942-31-1156

(久留米市より在宅医療・介護連携推進事業の委託を受けて実施しています。)

